



かすりすと

十八模様は久留米かすりのシンボルとしてあらゆるシーンに活用していきます。

かすりすとバスハイク2015

参加者
募集!!

「かすり織元と 柳川さげもん・酒蔵巡り」



恒例のバスハイク、今年は
織元見学の後、水郷柳川のさ
げもん、御花、白秋生家などを
巡ります。筑後路の春の一
日、かすりを身につけて楽し
みませんか？

【バスハイクの主な行程】・織元

・柳川散策(旧戸島家住宅、白秋生家、御花立花氏庭園)
・御花(昼食) ・目野酒造(柳川市) ・地場産くるめ
※行程表は天候等で変更になる場合がございます。

とき:3月2日(月) 地場産くるめ 9:00 集合
(西鉄久留米駅 8:40 集合)

対象者:かすりすと会員

申込締切:2月12日(木)必着

募集定員:28名(ハガキ1枚で2名様まで応募可)

※同伴者の氏名は必ず明記下さい。

参加費:5,000円(当日徴収、昼食お土産付)

通知方法:応募多数の場合は抽選となります。当選者
には2月17日(火)までにハガキにて通知いたします。

応募方法:「かすりすとバスハイク参加希望」と
記入の上、ハガキにて応募下さい。

※郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号(本人
連絡可能な番号)を明記の上、地場産くるめ宛
にご応募下さい。

参加申し込み・お問い合わせ

地場産くるめ

〒839-0809 福岡県久留米市東合川5-8-5

TEL.0942-44-3700 FAX.0942-43-1020

担当:安岡、永田



「織元登場」より 山藍 山村省二さんの工房

CONTENTS

1p ・かすり織元と柳川さげもん巡りバスツアー

2p ・久留米かすり秘話 vol.13

絵紉の源流を探る～「松枝玉記生誕110周年展」

3p ・かすりすとオリジナルもんぺ限定販売
・第18回藍・愛・で逢いフェスティバル
・かすりすとバスハイク報告

4p ・久留米紉のイベント情報
・織元登場 山藍 山村省二さん
・地場産くるめ SHOP INFORMATION

久留米かすり秘話

VOL. 13

絵紺の源流を探る「松枝玉記生誕110周年展」

久留米かすりは200年の歴史の中で、

井上伝女が生み出した「霰織あられおり」「雪降ゆきふり」に代

表される阿伝紺(幾何文様)から始まり、大

塚太蔵が考案した「絵台」による絵紺は、か

すりの表現の幅を大きく広げた。その絵紺

を得意とした重要無形文化財(人間国宝)

松枝玉記の生誕110周年を記念した展

覧会が、今年5月、玉記の生家のある三瀧

郡大木町笹淵の松枝家で実現する。

松枝家は筑後平野の真ん中、水田とク

リークに囲まれた閑静な大木町にある。

外観からは分かりにくいですが、明治7年「戊

年の災害」後に改築されたというから、す

でに120年は経っている建物だ。自宅の

ある母屋と隣接する紺屋場こうやば(藍甕が12

本)、ハタ場な(現在は投げ杼機ひばたが5台)があ

り、玉記は平成元年、84歳で亡くなるまで

この場所で紺を紡ぎ続けた。5代目とな

る松枝哲哉さんは中学の頃から祖父の玉

記から紺の手ほどきを受け、後に紺でも重

要な位置を占める水を求めて祖父と共に

探し求めた現在の田主丸竹野の地に久留

米紺の工房「藍生庵(玉記の雅号)」を設

け、現在まで意欲的な久留米紺の作品を

創り続けている。

地元大木町の応援を受けて、

絵紺発祥の地で展覧会が実現

今回の展覧会の実現には地元大木町(町

制60周年)の熱い思いがあります。同時に哲

哉さんの長男崇弘さん(20歳)が昨年末か

ら、この生家から大学に通い、6代目として意

識が芽生えてきたとのこと。また、50年来の

玉記ファンであるK・文子氏(茨城在住)が崇

弘さんの紺の研究資料として活用して下さ

いと、所蔵の玉記作品15点を贈呈されたこと

も、生誕110周年開催へのきっかけになっ

たと哲哉さんは語る。「発祥の地で再び紺を創

る、これから大変な道のりかもしれませんが

が、祖父玉記も喜ぶだろうと思います。また

地域の皆さんにも支援を頂きながら、久留

米紺の新たな展開の地として模索して行け

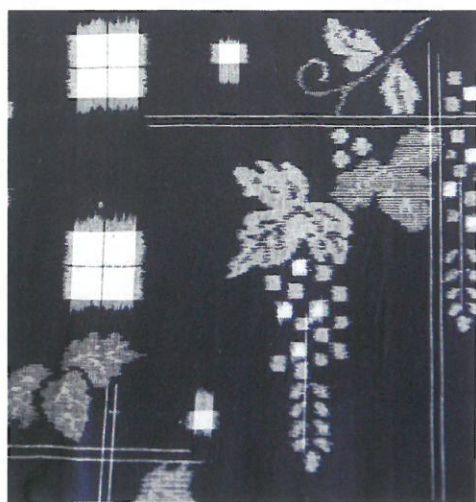
ればと願っています」。筑後平野の豊かな自

然の中で明治生まれの松枝玉記の久留米紺

は、平成生まれの崇弘さんにどう受け継がれ

ていくのか、その時間の経過を見守りたい。

取材協力資料提供/久留米紺作家松枝哲哉氏 松枝小夜子氏



松枝玉記作「風と光」1974年



松枝玉記作「百福」1986年



松枝玉記生家



紺屋場



機織り場

大木町町制60周年を記念して 松枝玉記生誕110周年展

とき:2015年5月30日(土)・31日(日)

ところ:松枝玉記生家(三瀧郡大木町笹淵413)

主な展示物:K・文子コレクションから

着物15点を含む30点を展示(未公開作品含む)

■基調講演:澤地久枝氏による松枝玉記と久留米かすりのお話

5月31日(日)13:00~14:00 会場:大木町こっぽーっとホール

■対談:澤地久枝氏、魚里洋一氏、松枝哲哉氏

5月31日(日)14:20~15:00(予定) 会場:大木町こっぽーっとホール

かすりすと企画オリジナルぱんつ販売

「藍・愛・で逢いフェスティバル」の開催に合わせて、今年もかすりすとオリジナルデザインのぱんつを企画。「ストレートぱんつ」「七分丈ゆったりぱんつ」を販売することになりました。全12種類の柄、数量限定販売となりますので、お気に入りのぱんつを見つけたらお早めにお買い求めを!!

3月21日(土)～22日(日)
第18回久留米かすり
「藍・愛・で逢いフェスティバル」
会場内にて発売開始

ストレートぱんつ及び
七分丈ゆったりぱんつ販売価格

通常価格 15,120円(税込)



会員特別価格
13,608円(税込)



【ストレートぱんつ】
サイズ:L,M

(ウエストゴム、両サイドポケット付き)
ウエストゴムで足首ゴム無し
のストレートぱんつです。
両サイドに内ポケット付き。



【七分丈ゆったりぱんつ】
サイズ:L,M

(ウエストゴム前リボン付、前2個張付けポケット)
ウエストゴムで前に飾りリボン付
き、前面に外ポケット付きで
かわいいぱんつです。

お問い合わせ先 **地場産くるめ**

TEL.0942-44-3700 FAX.0942-43-1020

第18回 藍・愛・で逢いフェスティバル

■藍・愛・で逢い広場(出店28企業)

出店ブースでは久留米絨や和・洋装製品・工芸品小物・手工芸用のハギレ等の品々を割安で取り揃えて、満足いくお買い求めが出来ます。

■久留米絨ファッションショー

公演 両日2回 11:30～/15:00～



■久留米絨活用製品企業コーナー

異業種企業コーナーでは、久留米絨を活用した絨工芸品トレ、時計などを販売します。

■2015 久留米絨新作発表会

一次審査 21日(土) / 二次審査 22日(日)

審査結果発表 22日(日)

出店作品 手織絨部門・機械織部門
絨二次製品部門 約130点

※審査、アンケートを頂いた方に抽選で20名様に絨粗品進呈
他、イベント多数。



報告 《かすりすと》会員バスハイク2014 かすり織元と雛の里・八女ぼんぼり巡り

昨春3月、実施しました「かすり織元と雛の里八女ぼんぼり巡り」は、約30名のかすりすとの参加を頂き盛況のうちに終了いたしました。特に印象深かったのは広川町の森山絨工房で織り体験、八女の町家の街歩き、そして酒造元の喜多屋の酒蔵開きなど盛りだくさんの内容に参加者の皆さん大満足の様子でした。



日時/2015年3月21日(土)・22日(日) 10:00～17:00

場所/地場産くるめ(久留米市東合川5-8-5)

◇無料の送迎バス運行いたします。

【JR久留米駅前高速バス乗り場】(福岡・小倉方面)～

【西鉄久留米駅】(0番乗り場)～【フェスティバル会場】

※両日とも9:30始発。午前中は30分間隔で運行

主催/藍・愛・で逢いフェスティバル実行委員会

事務局/久留米絨協同組合 TEL.0942-44-3701

入場 無料



久留米絣のイベント情報

第61回 日本伝統工芸展 福岡展

とき／2015年2月3日(火)～2月8日(日)
ところ／福岡三越9階三越ギャラリー

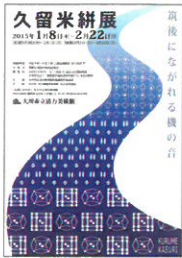
絣手織元 山藍の山村さんの弟子、柿原真木子さん(筑紫野市出身)が昨年おこなわれた第61回日本伝統工芸展で新人賞を受賞した作品も展示されています。

大川市立清力美術館 企画展

「筑後に流れる機音-久留米絣展-」

期間／開催中～2月22日(日) 9:00～17:00(入館は16:30まで)
※月曜日休館(祝日の場合は翌日)

場所／大川市立清力美術館(大川市大字鐘ヶ江77-16)
入場料／200円(中学生以下、障害者手帳の交付を受けた方は無料)
問／大川市立清力美術館 TEL.0944-86-6700



久留米絣文化博vol.2

日時／2月21日(土) 10:00～17:00
2月22日(日) 10:00～16:00

場所／九州芸文館(筑後市大字津島1131)
貴重な文化財の絣の展示をはじめ、久留米絣の産地、広川・筑後より18の織元が一同に集結し、個性豊かな絣を展示・販売致します。

◇久留米絣コーディネートアドバイス講座《両日とも12:00～14:00～》
現役モデルがアドバイス

◇久留米絣ストールコンテスト結果発表《22日(土)15:00～》

私が欲しいストール・プレゼントしたいストールコンテスト

◇機織り体験ワークショップ《両日とも11:00・13:00・15:00》

材料代 500円・定員13名

※無料のシャトルバス運行(筑後広域公園駐車場～九州芸文館)。九州芸文館駐車場は、台数に限りがあります。筑後広域公園駐車場をご利用下さい。

問／同実行委員会事務局(筑後市観光協会) TEL.0942-53-4229



かすりすと 久留米かすりファン倶楽部季刊誌かすりすと

通巻 第17号

2015年2月発行

発行編集(公財)久留米地域地場産業振興センター

〒839-0809 福岡県久留米市東台115丁目8番5号

TEL:0942-44-3700 FAX:0942-43-1020

http://www.jibasankurume.jp



「藍は生き物ですから、すべて天然のものを使いゆつくりと発酵させます。ふすまを使うのもそのためです。デンプンを糖化し、発酵を促す、そうすることで藍の持続性が出て、飽きのこない自然な色が出てくるんです」と山村さんは藍

天然藍と草木染めの融合
明治初期から天然藍の手織で久留米絣を織る山藍の4代目、山村省二さん。昭和34年生まれ、父の順吾さんのあとを受け継ぎ20年になる。山村さんが織る絣はすべて自らの工房で創る。徳島の天然藍、木灰、貝灰、ふすま(小麦の殻)などを使い藍建てをする。



左より 山村省二さん 柿原真木子さん

「藍は生き物ですから、すべて天然のものを使いゆつくりと発酵させます。ふすまを使うのもそのためです。デンプンを糖化し、発酵を促す、そうすることで藍の持続性が出て、飽きのこない自然な色が出てくるんです」と山村さんは藍

時に「草木染め」にもこだわります。ヤマモモ(黄色系)、五倍子(グレー)がかつた紫、コチニール(貝殻虫(赤系)、矢車(ブルー)など好みの色彩を出すための天然材料を自然界に求める。

を愛しむように話される。藍染めと同じ



天然藍染 草木染
絣手織元 山藍
八女郡広川町大字長延250-1
TEL.0943-32-0150



「藍は生き物ですから、すべて天然のものを使いゆつくりと発酵させます。ふすまを使うのもそのためです。デンプンを糖化し、発酵を促す、そうすることで藍の持続性が出て、飽きのこない自然な色が出てくるんです」と山村さんは藍

こうして織られた久留米絣は山村さん独特の藍のグラデーション、暖かみのある赤や黄色のアクセントが絣をより深い造形の世界へ導いてくれる。

は他の産地に比べ恵まれた環境です。重要無形文化財に指定された伝統工芸品から生活着まで幅広いポテンシャルをもっていることで、織の世界で生き残れていると思います。これからは身近なゆかたやもんぺなどから久留米絣に触れてもらい、ステップアップとして絣の着物を着て頂く、そんな流れが出来ればいいですね」と語る。

筑後の地酒勢揃い!
新酒の季節ですわね!
地場産くるめ及び地場産くるめJR久留米駅店(JR久留米駅構内)では、各種地元のお酒を揃えた地酒コーナーがありますので是非お立ち寄り下さい。

地場産くるめ SHOP INFORMATION



ふるさとを「頑張る」です!
地場産くるめ
公益財団法人久留米地域地場産業振興センター

地場産くるめ TEL.(0942)44-3700 FAX.(0942)43-1020
HP. http://jibasankurume.jp 営.10:00～17:00
※展示即売場コーナーは地場産くるめ2Fにございます。
地場産くるめ JR久留米駅店 TEL.0942-27-5510 営.7:00～19:00

毎月11日は「いい日地場産の日」開催!
毎月11日は全品11%OFF (一部商品除く)